



鳥取県看護協会だより

こすもす



第189号

2024年10月発行

会員数 4,184名

保健師 99名

助産師 206名

看護師 3,840名

准看護師 39名

(令和6年10月17日現在)

公益社団法人鳥取県看護協会

〒680-0901鳥取市江津318-1 TEL 0857-29-8100 FAX 0857-29-8102

E-mail : kango@tottori-kangokyokai.or.jp 【発行責任者】松本美智子

鳥取県看護協会

検索

<https://www.tottori-kangokyokai.or.jp/>



ホームページ新着に「こすもす189号」を11月末掲載します！

日野病院組合 日野病院



看護の日のイベント開催 一日看護局長としてかんごちゃんが登場



ひのっこ保育園の子どもたちが大喜び！



CONTENTS

2025年度会員の継続手続き・変更手続きについて／会員特典	P 2
実習指導者養成講習会を受講して／	
第1回圏域別看護管理者ネットワーク会議開催報告	P 3
委員会企画 シリーズ2／スペシャリストにきく	P 4
日野病院施設紹介	P 5
看護師職能委員会Ⅱ研修会報告／地区看護職交流会について	P 6
プラチナナース／プラチナナース交流会案内	P 7
「まちの保健室」事業紹介／理事会報告	P 8
鳥取県ナースセンター便り	P 9
地域包括ケアシステム推進研修会／新刊図書／編集後記	P 10



2025年度 会員の継続手続き・変更手続きについて

現在会員の方には、10月31日時点の会員データに基づき、「次年度会費に関する重要なお知らせ」を圧着ハガキにて11月下旬から順次施設または自宅へ送付します。

記載項目に変更のない場合

◆**提出不要（自動継続）**



継続のお知らせ
圧着ハガキ
(イメージ)

◆**会員情報の確認・変更は
会員専用WEBページから行ってください。**

会員専用WEBページ
キャリアナース



現在の会員情報は、ハガキに印字されません。
会員専用WEBページ「キャリアナース」からご確認とご変更をお願いします。

2025年度会費の口座振替日：2025年2月27日（木）

2025年度入会者から、入会金・運営事業費の分割納入方法が変更となります。
詳細は次号掲載いたします。

会 員 特 典

会員特典として、研修受講料が会員価格以外にこのような特典があります！

看護職賠償責任保険に加入できます

年間**2,650円**

WEB申込
も可能に
なりました！



就業中のケガによる入院・手術・通院を補償！



特定感染症による後遺障害・入院・通院も補償対象に！（新型コロナウイルス感染症含む）



ハラスメントを受けた場合の弁護士費用を補償！



研修を**3回以上受講**された会員の方に
クオカード(1,000円分)をプレゼント！

※研修No.に★がついている研修が対象です
該当（3回以上受講）の方は、看護協会職員にお申し出ください。

従来の補償



大和ハウス工業（株）

分譲住宅

建物価格の**1%割引**



※契約までに事前の申し出が必要となります。
会員及び職員とその直系3親等以内の方が対象です。

鳥取県看護職員実習指導者養成講習会を受講して

開催期間 6月12日～7月25日 受講者数 21名

受講生代表 鳥取県済生会境港総合病院 村上 早紀

私達21名は鳥取県看護職員実習指導者養成講習会を無事に終えることができ嬉しく思います。初めは慣れない場所での一人暮らし、誰一人知らない方々との日々を考えると不安でいっぱいでした。初日は緊張していましたが、久しぶりの座学は学生のように、とても新鮮な気持ちになりました。「教育とは」から実習の意義や実習指導者の役割、実習指導案作成など学ぶことができました。長期に現場を離れたことが無かったのでもっとリフレッシュでき、規則正しい生活を送ることができました。現場から一歩外に出ることで改めて看護とは何かを考える良い機会になり、学生に指導する前に自身の看護観を見つめなおすことができました。施設も経験年数も年齢も何もかも違う人たちと一緒に授業を受け、自分の意見だけでなく様々な考えに触れることができました。講習会を通して想像力や共感性を養うことができ自身の視野が広がりとてもいい経験になりました。

実習指導案作成時はグループメンバーの個性が豊かで話し合いを行う時、作業に取り掛かる時、どの場面もとても楽しかったです。自分たちの中にある指導観を持ちながらも全員の意見をうまく取り入れ、まとめていく先輩方の姿を見て尊敬の念を抱きました。私たちのグループは発達障害というキーワードで指導案を作成しました。日々新人看護師や看護学生と関わる中でみんなが抱えている悩みでした。障害と捉えるのではなく特性と考えるのか、私たちは何を伝えたいのか何回も話し合いを重ねました。指導案が完成したときは達成感でいっぱいでした。今回21人で31日間共に学んだことを活かし、どのグループも自分たち色の指導案を協力しながら作成したことは良い思い出です。作成した指導案はすべてが活用できるかはわかりませんが、その過程が大切であったと思っています。自分たちの指導案や作成した過程を振り返りながら実際の指導場面でも活用していきたいです。明日からは各現場に戻りますが講習会での学びを活かした学生指導、現場のスタッフの育成にも尽力し共に成長していきたいと思っています。

最後になりますが、横山加奈子先生をはじめ、ご指導いただきました諸先生方、またこの講習会にご配慮いただき私たち受講生を温かく見守り支えてくださった鳥取県看護協会の皆様、そしてこの講習会に快く送り出してくださいました各職場の皆様に深く感謝いたします。



開講式：受講生の皆さま

第1回 圏域別看護管理者ネットワーク会議 開催報告

●開催期日 ()参加病院数

東部圏域：9月30日(月)(9病院) 中部圏域：9月25日(水)(10病院) 西部圏域：10月3日(木)(14病院)

●報告事項

「病院に勤務する看護職員の勤務環境改善に係るアンケート調査結果」

●協議事項(情報交換)

「病院に勤務する看護職員の処遇の改善に向けて」

- 令和6年度診療報酬改定による賃金の改善
- 業務の効率化の取組み状況
- タスク・シフト/シェアの現状 その他



出席者全員から情報交換や意見交換が活発に行われ、各病院の業務の効率化に向けた看護業務の見直しとその具体的な取組みの状況、看護職員から看護補助者や薬剤師・リハ職等へのタスク・シフト/シェア、AI・ICT等を活用した先進的な取組みに対する質疑応答など、有意義な機会となりました。

本協会としては、ベースアップ評価料を原資とした看護職員等の賃金改善の現況を把握することができました。

この結果を受けて、すべての看護職員の処遇改善の実現に向けて、今後、県や医師会等関係者への働きかけを強化していくこととします。

また、看護職員ひとり一人の意識の向上を図る必要性も感じました。

地域と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築

第2回 ～在宅研修を受講後、病院での退院支援の役割～

鳥取大学医学部附属病院 浅野目 佳余

当院では入院前から退院後の生活を見据えて情報収集を行い退院支援に取り組んでいます。しかし、入院後は入院目的となった疾患管理に重きが置かれて医療者側に管理される患者としての側面が強くなってしまいがちになるため、退院することがゴールにならないように退院後の生活を想像した指導やケアを行い外来で継続的に関わる姿勢が求められます。T-HOCを修了後に在宅療養の学びを深めようと訪問看護ステーションへ一年間出向した経験から、病気や障害を抱えながら家庭や社会で役割をもち生活をしていることをイメージして包括的な視点で病状管理や医療処置への支援や意思決定支援を行うことが大切だと学びました。できるだけ再入院を予防して暮らすために患者家族が取り組める指導を行い、地域へ繋いでいくことを意識して関わるのが病院看護師の役割発揮だと思います。当院では病棟外来一元化という強みを活かして、退院後の継続的な介入、外来での在宅療養支援に取り組んでいきたいです。



T-HOCにて講師をしている様子



「患者と家族の意向を尊重した退院支援」

鳥取赤十字病院 岩田 理香

病院での治療を終えた患者は、療養の場を地域へと移行していきます。その際、患者・家族が退院後にどのような生活をしたいと望んでいるのかを考えることが大切だと思います。

患者の意思を尊重し、希望に添えるよう必要な支援につなげていくために、まず患者の思いを知ることが退院支援には必要と考えます。入院前の生活状況や家族背景、患者の思いを把握したうえで、患者と家族のどちらかの希望が優先されるのではなく、患者と介護者となる家族が合意し安心して地域・在宅へ戻るには、どのように介入し多職種と連携したらよいか、在宅療養を意識した支援を行うことが必要だと思います。患者・家族の思いの情報共有やケア継続のために、入院中の状況や指導内容を明確に退院前カンファレンスで訪問看護師へ伝え、在宅での療養、看護についてすり合わせを行うことも大切と考えます。

患者・家族の意思を中心とした退院支援を行い、切れ目のない継続した看護を提供できるように努めていきたいと思っています。



カンファレンスの様子

スペシャリストにまかす

～特定看護師クリティカルケアの取り組み～

鳥取県立厚生病院 福山 裕希

私は集中治療室に勤務し、主に呼吸器関連の特定行為を手順書に基づいて実施しています。日々、医師の方針を確認し、患者の状態に応じた呼吸器設定の調整や、人工呼吸器からの離脱支援を実践しています。単に医師の代わりとして特定行為を行うのではなく、看護師の視点で患者へのメリットを考えた実践を心掛けています。また、研修で得た知識をもとに、治療における医師の意図を看護スタッフと共有することで、最適なケアの提供ができると考えており、チーム医療の橋渡し役を担えるよう努めています。

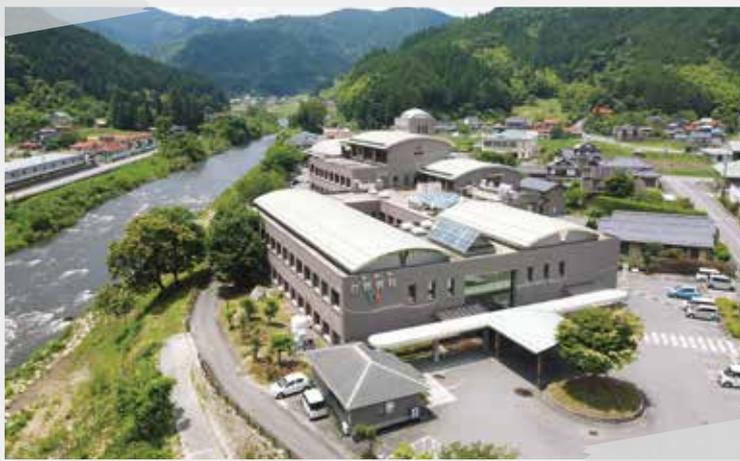
私は、特定看護師が増えることが、より質の高い医療と看護の提供につながると考えています。しかし、自施設ではまだ特定看護師の認知度が低いため、まずは成果を上げ、特定看護師の役割と価値を広めたいと考えています。さらに、今後特定看護師を目指す方々にとってロールモデルとなれるよう、日頃の業務に取り組むたいと考えています。



呼吸器設定を変更する様子



NPPVの管理について
レクチャーしている様子



看護の日のイベント 健康チェック【血管年齢・脳年齢】
 たくさんの地域住民の皆様が参加していただき、楽しい時間を過ごせました。
 職員も休憩時間に健康チェックをして楽しみました。

近藤看護局長



施設紹介

日野病院組合 日野病院

住所／〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL/0859-72-0351

施設の概要 (R6.9.1時点)

病床数：99床
 (一般+包括ケア病床)
 看護職員数：71人
 看護体制：
 一般病棟10：1
 固定チームナーシング

日野病院は鳥取県西部の中山間地域の中核病院として、地域に根ざした医療・看護の実践を目指しています。住み慣れた地域で安心してその人らしく暮らし続けることができるよう、看護師は多職種と連携を図り、患者家族と相談し療養生活を支援しています。

看護局の目標は「患者のそばで安全と尊厳を守る看護の実践」とし、まず看護提供方式の見直しに着手しました。一人の看護師の受け持つ患者数を少なくし、患者のそばで見守り、思いを聴くなど寄り添う看護を実践しています。今後、評価し各々の病棟にあった看護提供方式に改善していくことが課題です。また、当院の看護師はエコーを実施しています。2年前から孝田院長にエコーの指導を受けトレーニングを開始、昨年度から便秘エコーチーム会を発足し、排便回診を毎週しています。今年度は研究のサポートを受けながら取り組み、第60回日本超音波医学会中国地方会において優秀演題賞を受賞しました。今年度から訪問看護師も実施し、看護師がより早く直腸内の便の有無や性状を観察し適切な排便ケアの提供により患者の安心、安楽につながることを期待しています。最近では便秘エコーを行うことで膀胱の評価もできるようになり、残尿測定も行っています。今後も一人ひとりの看護師が新しいことにチャレンジし、やりがいを感じ、楽しく仕事ができるように努めていきたいと思います。



地域とつながる活動

日野病院職員がねう祭りに参加
 毎年、踊りを披露



看護の宅配便再開

看護師が移動販売車に同行し地域住民の元へ伺います。

「患者」ではなく「地域で暮らす人」として捉える力を学びます。季節ごとの生活に潜む危険予防などの指導活動も行っています。



排便回診



携帯用エコーの活用

看護師職能委員会Ⅱ 研修会を実施しました

日時

令和6年8月25日(日)
13:00~16:00

場所

鳥取県看護研修センター

参加者

38名

看護師職能委員会Ⅱ 委員長 三嶋 広恵

「多職種で支える食支援 ～最期まで食べたい思いを叶えるために～」と題して、訪問看護ステーションコムパートナーズ 言語聴覚士の平尾太一氏を講師にお迎えしてご講演いただきました。

施設・訪問看護等在宅領域において、利用者の栄養状態を維持していくためには、口腔機能の維持が不可欠です。研修会では、先ず、加齢に伴う嚥下機能の低下を踏まえた口腔ケア方法、ケアが不十分で生じるリスク、摂食嚥下のメカニズムなどをご講義いただきました。安全に摂取していただけるとろみの形態や、とろみの付け方などについてニュートリー株式会社の方より情報提供をいただき、実践演習も行いました。ティルト式車椅子を使用し、互いに食事介助を体験し合い、嚥下しやすい姿勢についても再確認できました。

多職種の連携による口腔機能維持については、診療報酬改定においても着目されています。地域で暮らす高齢者の食支援において、リスク回避が必要な場面も多々ありますが、その人にとって何を優先するのかを忘れてはならないという講師の言葉がありました。口から食べることを私たちが先に諦めないで支援する姿勢の大切さを学んだ研修でした。



平尾太一講師による講義



演習の様子



地区看護職交流会のご案内

参加無料

東部

「明日から出来るアロマ ハンドマッサージ」

～触れるケアで、自分にも、
周りにも癒しの贈りもの～

対象

東部在住又は
東部地区施設に就業中の看護職

日時

12月7日(土)
10:00~12:00

会場

鳥取県看護研修センター
(鳥取市江津318-1)

内容

- 心地よいタッチングと香りは、触れ合う両者のメンタル面にも働きかけます。「アロマハンドマッサージ」をとおして、自身の心身のリフレッシュと活力を養いよりよい看護実践や看護ケアの提供につなげていきましょう。

※オイル代として別途500円が必要です。

講師：ガン経験者のためのアロマサロン
mellow 主宰 宇田川美嘉氏

中部

「大切な食事、でも 頑張らない食事づくり」

～健康で楽しく働き続けるために～

対象

中部在住又は
中部地区施設に就業中の看護職

日時

12月7日(土)
14:00~15:30

会場

上灘コミュニティセンター
(倉吉市上灘町9-1)

内容

- それぞれのライフステージで大切にしたい「食」について、忙しい毎日の中で健康的に豊かな暮らしが出来るよう、働き続けられるために必要なことについて、できるだけ「楽に!」「簡単に!」出来るメニューや方法をご紹介します。簡単レシピももらえます!

講師：三朝町管理栄養士 岩山美由紀氏

西部

「フレイル」知ってますか?

～西部地区の取り組みを知り、
高齢者看護に活かす～

対象

西部在住又は
西部地区施設に就業中の看護職

日時

11月23日(土)
13:30~16:00

会場

米子市福祉保健総合センター
ふれあいの里
(米子市錦町1-139-3)

内容

- 「高齢者の看護」をテーマに、加齢により心身が衰えた状態「フレイル（「健康」と「要介護」状態の中間の段階）について米子市の取り組みを学び、地域住民の暮らしを支える看護に役立てていきましょう。

講師：米子市フレイル対策推進課

申込方法

詳細については、各施設に交流会案内と申込書を送付いたします。

各施設まとめて、ファクシミリ又は電子メールでお申込みください。

【要事前予約】

☎ 0857-29-8102 / ✉ kango@tottori-kangokyokai.or.jp

Keep Shining

輝き続ける プラチナナース

社会医療法人同愛会 博愛病院
田中 香寿美



医療安全管理者を最後に、定年を迎え患者相談室に継続雇用となりました。

当初は、総合案内で相談を待つというスタイルではじまりました。しかし来院される方々は高齢者が多く、特に体の不自由な方は近くでの対応が必要だと感じ、入り口付近に立ち、声掛けをするようにしました。

現在の主な業務は、患者さんのサポートと意見や相談等への対応です。意見や要望については共感的姿勢でゆっくり思いを聴くようにしています。内容によっては関係部署への橋渡しを行っています。また初めての来院で迷っている方や転

倒のリスクがあると判断した患者さんを近くで見守るなど安全面に配慮し、安心して受診されるように支援しています。

患者相談室勤務となり、直接的なケアを行うことは殆どありませんが、患者さんとのコミュニケーションが多くなり顔をみると「今日も居てくれて助かった」「いつもありがとう」という言葉や帰り際に手を振ってくださる方などこちらが癒され心が温かくなります。

このような働き方をさせていただける事に感謝し、これからも目配り気配り心配りを忘れず患者さんに寄り添っていきたいと思います。

プラチナナース交流会のご案内

人生100年時代といわれるこれからの看護職の働き方は、退職後も看護職としてのキャリアや豊富な経験を活かして社会に貢献できることが大切です。

退職を控えた看護職、また退職後の看護職がそれぞれのライフスタイルに合わせて活躍していただくために、「プラチナナース交流会」を開催します。

開催日時 12月1日(日) 13:00~16:15

開催場所 東部会場：鳥取県看護研修センター 大研修室
(鳥取市江津318-1)

中部会場：伯耆しあわせの郷 多目的活動室
(倉吉市小田458)

西部会場：ヴィレステ日吉津 第1・第2会議室
(西伯郡日吉津村930)

※東・中・西圏の各会場に集合し、講演と実践報告会はZOOM配信

※交流会は、各圏域で開催

対象 おおむね55歳以上の看護職・退職後の看護職

13:00 開会

13:05 講演

テーマ

「看護職の人生設計、
ライフプランを考える
～退職前後に知って得する年金の話～」

講師 社会保険労務士法人
MOYORINO 代表

三ツ國 全代 氏

14:00

14:10 実践報告

テーマ

「キャリアを活かしたセカンドライフ
～地域で活躍するプラチナナース～」
報告者3名

保健師：長谷川 理恵 氏

助産師：加持谷 多栄子 氏

看護師：幾田 扶美子 氏

15:10

15:15 交流会

東部・中部・西部会場それぞれで交流

16:15 閉会

「まちの保健室」開催中

「まちの保健室」

(県内各郵便局を会場に、ボランティア看護職と郵便局の協力を得て開催しています)

日時 令和6年9月17日(火) 13:00~15:00 **場所** 境港東本町郵便局
参加者 14名 **内容** 骨健康度測定、血管年齢測定、脳年齢測定、健康相談

今年度第6回目の「まちの保健室(準拠点型)」を開催しました。今回初めての開催地域となった境港市はフレイル予防対策に取り組まれる地域でもあり、当日は自分にあった運動を実践されている方や健康意識の高い方の参加も多く、実年齢より若く出た測定結果に喜ばれ、和やかな雰囲気の中で楽しそうに参加されていました。



「まちの保健室」ボランティア募集中

「まちの保健室」では、学校にある保健室のように、誰でも気軽に立ち寄り、自分の健康や生活について相談できる場所として、県内各地の郵便局やイベント等での活動を通じて、看護職の専門的な知識と経験を活かして、全世代の地域住民の健やかな生活を応援しています。

鳥取県看護協会では、私たちと一緒に活動して下さるボランティアの募集を行っています。
詳しくは看護協会までお問い合わせください。

鳥取県看護協会 まちの保健室

検索

理事会報告

第5回 令和6年8月6日(火) 13:00~16:30
場所 鳥取県看護研修センター・ZOOM

【協議事項】

- 協議1. 基本方針・政策
1-1 令和7年度重点政策・重点事業策定に向けたスケジュール(案)について
- 協議2. 事業推進に関する事項
2-1 令和7年度通常総会等の日程(案)について
2-2 入会促進について
- 協議3. 管理的事項
3-1 鳥取県看護協会定款細則の改正(案)について
3-2 鳥取県看護協会入会金及び運営事業費に関する規程の改正(案)について
- 協議4. 人事関係
なし
- 協議5. その他
なし

【報告事項】

- 報告1. 基本方針・政策
1-1 理事変更登記・確認書について
- 報告2. 事業推進に関する事項
2-1 日本看護協会報告
1) 令和6年度第3回理事会
2) 2024年度第1回法人委員会
3) 全国職能委員長会
2-2 事業報告
1) 執務執行理事報告
2) 各委員会報告
3) 令和6年度重点政策・重点事業の実施状況について
4) 各事業報告
(1) 看護補助者の確保・定着推進について
(2) 2024年度地区別法人委員会・地区別職能委員長会について
(3) 令和7年度予算・事業計画の策定スケ

ジュールについて

- (4) 令和6年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル並びに実習指導者養成講習会について
(5) 医療的ケア児等東部相談窓口交流会について
(6) 「新型コロナウイルス感染症と対峙した看護職」の発行について
- 2-3 会議報告
1) 2024年度都道府県看護協会会員情報管理情報交換会
2) 2024年度都道府県看護協会看護労働担当者会議
- 報告3. 管理的事項
3-1 令和6年度入会員の報告について
3-2 労働基準監督署からの指導事項に係る対応について
3-3 衛生委員会の設置について
- 報告4. 人事関係
今回はなし
- 報告5. その他
5-1 マナブル(研修管理システム)価格の改定について
- 報告6. 書面報告
6-1 令和6年度第3回・第4回理事会議事録
- その他 令和7年度県政(当初予算・政策策定)への要望の提出について
第18回日本禁煙学会学術総会について

第6回 令和6年10月12日(土) 9:30~13:00
場所 鳥取県看護研修センター・ZOOM

【協議事項】

- 協議1. 基本方針・政策
1-1 令和6年度重点政策・重点事業の上半期評価を踏まえた令和7年度の重点政策・重点事業について
- 協議2. 事業推進に関する事項
2-1 令和7年度県政等への要望について
- 協議3. 管理的事項

- 3-1 鳥取県看護協会就業規則の一部改正(案)について
- 協議4. 人事関係
なし
- 協議5. その他
なし

【報告事項】

- 報告1. 基本方針・政策
報告2. 事業推進に関する事項
2-1 日本看護協会 理事会・法人委員会報告
1) 令和6年度第4回理事会
2) 令和6年度第2回法人委員会
2-2 事業報告
1) 執務執行理事報告
2) 各委員会報告
3) 令和6年度事業実施状況
令和6年度重点政策・重点事業報告
4) 第1回圏域別看護管理者ネットワーク会議
5) 中部圏域3職能合同座談会
6) 令和6年度地域包括ケアシステム研修会
7) 看護職のためのポータルサイト「NuPS(ナップス)」オープンについて
8) 令和6年度プラチナナース交流会
9) 外来における看護職員の在宅療養支援能力向上のための研修会
- 2-3 会議報告
1) 2024年度都道府県看護協会政策責任者会議
2) 2024年度都道府県看護協会教育担当役員会議
- 報告3. 管理的事項
3-1 鳥取県定款細則の改正について
3-2 令和6年度入会員の報告について
- 報告4. 人事関係
4-1 職員の採用・退職について
- 報告5. その他
5-1 新たな「看護の将来ビジョン」骨子案への意見について
- 報告6. 書面報告
6-1 令和6年度第5回理事会議事録

鳥取県 ナースセンター便り

第7号



就業相談だけでなく、仕事の悩みなどもご相談ください。丁寧に対応します。

「鳥取県ナースセンター」は厚生労働省の許可を受けた
看護職のための無料職業紹介所です。
今年7月より看護補助者の無料職業紹介もおこなっています。



■ 就業先の紹介 (就業相談)

ご相談は看護協会の会員・非会員を問いません

相談時間：平日10:00～16:00
相談場所：鳥取県ナースセンター内
(鳥取市江津318-1)

-来所が難しい方はWebでの相談も可能です
-土曜日の相談も月に1回行っております (予約制)



主な相談内容

- 看護職の就職、転職に関する相談
- 仕事の悩みの相談
- 看護職を募集する施設の求人相談
- 進路やキャリアアップに関する相談
- ナースセンター登録に関すること



Web相談お申込み

■ 再就業支援研修

今年度も県内に在住する看護職で再就業に不安がある方、学習を希望する方を対象に研修を実施しています。
※詳細な日時、内容等はホームページをご覧ください。

- 【再就業支援研修】 講義・演習…7研修
- 【看護技術研修】 3研修
- 【高齢者介護福祉研修】 3研修



喀痰吸引の研修の様子



筋肉注射の演習の様子

■ 移動就業相談会

ナースセンターの看護職による相談コーナーです

開催地区	会場	時間	開催日
東部	ハローワーク鳥取	13:00～16:00	毎月第2月曜 ※8月、10月、2月は第1月曜 1月は第3月曜
中部	ハローワーク倉吉 (予約制)	13:00～15:30	毎月第2火曜 ※8月は第1火曜 2月は第2月曜
西部	ハローワーク米子	10:30～12:00 13:00～15:00 (最終受付14:30)	毎月3回開催 ※日程等の詳細はホームページをご覧ください

Information

NEW 看護補助者の無料職業紹介を開始しています

2023年10月に「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の基本指針が改正され、看護師等の無料職業紹介と併せて、看護補助者の無料職業紹介を実施することが重要であると明記されました。

鳥取県ナースセンターでも取扱い職種として追加し、ハローワークと連携し協働で、病院等で働くチームの一員としての看護補助者の就業支援を開始しました。

※詳細はホームページをご覧ください

資格不要!



届出制度「またいつか働きたい」をサポート

看護職員が病院等を退職した際は都道府県ナースセンターへの届出が必要です。

※退職して次の職場が決まっている方も届出をお願いします。



看護師等の届出サイト

とどはるん

NEW 看護職のためのポータルサイト「NuPS」運用開始

日本看護協会では、看護職一人ひとりの資質向上やキャリア構築に役立つツールとして、自分のキャリアに関する情報を一元的に管理・活用できるポータルサイト「NuPS (Nurse Portal Site) : ナップス」の運用を2024年11月より開始予定です。



看護職のキャリアに詳しいナースセンターが看護職として輝き続けるために一緒に考えます。



看護師等無料職業紹介所

鳥取県ナースセンター

E-mail tottori@nurse-center.net

TEL 0800-222-1232



令和6年度 地域包括ケアシステム 推進研修会

地域へつなぐ看護

2024

12.14 [SAT] 13:00~16:00

三職能
合同

開催方法 ハイブリッド方式

- 鳥取県看護研修センター
- Zoom

参加費
無料



対象 看護職及び看護学生

申込期間 10月20日(日)~11月30日(土)
マナブルでお申込みください

全世代の人々の健康と生活を守るために、看護職員一人ひとりが主体的に役割を發揮することができるよう、看護職間連携のより一層の推進を目指し「三職能合同研修会」として開催します。お誘い合わせの上、是非ともご参加ください。

特別
講演

全世代型地域包括ケアシステムを推進するために ～看護職の職能間連携の目指す姿～

講師 公益社団法人日本看護協会 副会長 勝又 浜子 氏

実践
報告

テーマ 地域へつなぐ看護～まずは看看連携を深化させてみませんか～

1 保健師職能と助産師職能との連携事例
「養育困難家庭への包括的支援」

境港市健康づくり推進課 保健師 田中 美津枝 氏
西江助産院 助産師 西江 順子 氏

2 看護師職能Iと看護師職能IIとの連携事例
「在宅見取りを希望する家族への支援」

県立厚生病院 看護師 松原 翔 氏
くらし民間救急ぬのこ 代表 上野 泰葉 氏

主催/問い合わせ (公社)鳥取県看護協会(保健師職能委員会・助産師職能委員会・看護師職能委員会I・看護師職能委員会II)
〒680-0901 鳥取市江津318-1 TEL 0857-29-8100 FAX 0857-29-8102

新刊図書



認知症ケアと日常倫理
—実践事例と当事者の声に学ぶ
時代のニーズに応え、専門性を
發揮する

編著 鶴若 麻理・
那須 真弓
日本看護協会出版会 発行



2024年度診療報酬改定対応
「重症度、医療・看護
必要度」解説書

著者 公益財団法人
日本看護協会
日本看護協会出版会 発行

編集後記



鳥取でも過去最高気温を記録した猛暑でしたが、朝晩涼しく感じられるようになりました。我が家では、音楽の秋を楽しんでいます。先日、高校生の息子が、昔私が聴いていた曲を聴いていてびっくり。懐かしく思うと同時に名曲は世代を超えて繰り返し聴かれるのだと実感しました。皆さんはどんな秋をお過ごしですか？

(広報委員 茗荷)